

生け花とお茶で協力

檜葉出身の2人 まほろば塾に参加

呈茶をする矢内さん（右から2人目）と花を生けた高原さん（同3人目）



んは「緊張したが名誉なこと。今回参加したことで、震災から一区切りついた気がする」と話した。

震災後いわき市に避難し、今月中に檜葉町に戻るといふ一般社団法人裏千家淡交会いわき支部の矢内宗里（本名和子）さん（70）は供養のためのお茶を用意した。矢内さんは「法要に参加したことで心が落ち着いたら。とても良い経験になった」と充実感をにじませた。

檜葉町コミュニティセンターで12日開かれた、東日本大震災の犠牲者を悼

復興祈願法要も行われ、檜葉町出身の女性2人が協力した。

み、震災と東京電力福島第

一原発事故からの復興を願

う「福島まほろば塾innな

ら（68）が壇上に生け花を用意

らは」では、七回忌追悼・

し、献花を行った。高原さ